

## 町の玄関口をあざやかに

こまちみどり愛護会が

### 小野に周辺の美化活動

あぶくま高原道路小野インターチェンジ周辺の美化活動が、こまちみどり愛護会(阿部君江会長)を中心に6月13日に行われました。

この活動は、「笑顔になれる景観づくり」がらばりが生きる景観づくり」を次世代まで繋ぐことを目的として毎年実施されているものです。

作業に先立ち、こまちみどり愛護会の活動に対し本町行政区、あぶくま高原道路管理事業協同組合から助成金が贈られました。

今回の活動では、マリーゴールドとサルビアの計1,000本の植栽、小野IC周辺の除草作業が行われ、65人程の皆さんが参加しました。

小野町の環境美化、景観づくりにご尽力されているこまちみどり愛護会の皆さん、ご協賛をいただいた本町行政区、あぶくま高原道路管理事業協同組合の皆さんに、心から御礼申し上げます。



また7月25日(土)、

8月29日(土)、11月7

日(土)にも活動を予定

しております。紙面

をご覧の皆さんの積

極的な参加をお待ち

しております。

### 地域整備課

72-6937

## ふるさと小野町に思いをよせて

### ふるさと小野町会総会

このほど、ふるさと小野町会(会長佐藤武臣氏(神奈川県在住・夏井出身))の平成27年度総会が埼玉県戸田市文化会館で開催されました。総会には、関東圏に在住する会員や町から大和田町長、村上議会議長他議会議員9人、吉田商工会長、二瓶観光協会会長、緑川ふるさと暮らし支援センター理事長など関係者ら90人が出席し、小町ふれあいフェスタへの参加、会報の発行など今年度の事業内容が承認されました。総会の終了後に、引き続き交流会が開催され、歌手で小野町観光大使の小野まち子さん、小町雪乃さん、大杉みゆきさんなどが歌声を披露しました。小野町での思い出話や互いに近況を報告し合うなど終始和やかな雰囲気の中で交流を深めました。



総会の様子

## ふるさと小野町会

### ふれあい通信



(本人による似顔絵です)

### 渡辺 勝昭

わたなべ・かつあき

- 飯豊出身
- 埼玉支部

### あゝ飯豊の丘

山懐の桜花、4月初め口ずさみながら飯豊小学校へ行ってきました。川口で咲かせている白いタンポポを散る前に何とか届けたい気持ちで数株ですが植えさせて頂きました。あそこにも、あつちにも咲かせたい気持ちはいつまでものことやら?と考えない訳にもいなくなりました。

戦後第1回目、国民学校最後の一年生も後期高齢者に位置づけられています。小中合同のつかい棒の校舎で7年半、新校舎の中学で1年半通い学びました。今は中学校の校舎には無断で入ることはできません。あの頃授業時間を割きながらも背負って運んだあの芝生が、あの土手をしっかりと支えていることに淋しさと懐かしさで眺めながら通り過ぎることしかできません。小野町誕生の時には15歳ながらも町の名づけ親の一人とさせていただきます。

した。小野新町、夏井、飯豊の1町2村が合併し早や60年、町の進化変遷を経る今でも飯豊の丘はふるさとそのもの、そのままの思いであります。学校への道端には勿論のこと、あの山へあの川への道々に白い花、日本タンポポが咲き溢れることを夢見ております。

綿毛から芽を出しても直ぐには咲かないし、咲いてみなければ白か黄色かもわかりませんが、日本タンポポの一種であることは確かです。白を選びながら育て少しくつ殖やしてゆきたい、西洋タンポポに負けないでほしいです。

飯豊の丘発白いタンポポの小野町へ。ツツジと桜と東堂山、歴史を映すや夏井川、リカちゃん共々頑張りたいです。飯豊小学校の皆さん、よろしくね。